

自分に質問してみよう

名前

◎ めあて

人に質問するときの仕方を理解して、質問名人になろう。

☆ 質問には、すぐに答えられる質問と、考えないと答えられない質問の二つの種類があります。

<p>すぐに答えられる質問の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな食べ物はなんですか。 	<p>考えないと答えられない質問の例</p> <ul style="list-style-type: none"> どうして、その食べ物が好きなのですか。
<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なスポーツは何ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> そのスポーツの一番のやりよ くは何ですか。

☆ 人に質問するときには、まず、すぐに答えられる質問をいくつかしましょう。そうすると、会話が盛り上がります。その後、考えないと答えられない質問をすると、会話の内容が深まります。

☆ 表のあいているところに、自分が考えた質問を書いてみましょう。たくさん書いたら、質問名人の仲間入りです。

自分に質問してみよう

名前

◎ めあて

質問に答えるかたちで、自分のことを話しましょう。

☆ 教科書の8、9ページを開いて、読みましょう。

☆ 質問を考えて、カードに書きましょう。

(例)
ラーメンとカレーライス、どちらが
好きですか。

(例)
ラーメンが好きな理由を教えてください。
さい。

(例)
おすすめの本は何ですか。

(例)
おすすめの本で一番おもしろいと思
ったところや、おもしろいと思った
理由を教えてください。

(例)
好きな歌手はだれですか。

すぐに答えられる
質問と、すぐには答え
られない質問の両方
を考えてみよう。



☆ カードに書かれた質問について、答えてみましょう。

風景 純銀もぎいく

名前

◎めあて

「風景 純銀もぎいく」を読み味わいましょう。

☆ 教科書の10ページを開いて、「風景 純銀もぎいく」を二回音読しましょう。

☆ 詩でよく使われる表現技法には、反復（くりかえし）、倒置（言葉の順序を逆にする）、比喩（たとえ）、擬人法（人のように表現する）、対句法（対照的な二つの言葉を並べる）、体言止め（文の終わりを名詞で止める）があります。

☆ この詩には、どのような表現技法が使われていますか。その効果も考えて、表にまとめてみましょう。

表現技法	効果
<p>反復</p> <p>体言止め</p>	<p>(例)</p> <p>「いちめんのなのはな」をくりかえすことで、菜の花がいつぱい広がっているイメージができる。</p> <p>「なのはな」で止めていることで、リズムよく読むことができます。</p>

☆ 詩を音読すれば、音の響きやリズムを楽しむことができます。表現技法に注目すれば、詩の世界を楽しむことができます。

あの坂をのぼれば

名前

◎ めあて

「あの坂をのぼれば」を読んで、感想や疑問に思ったことを書きましよう。

☆ 教科書の13ページを開いて、「あの坂をのぼれば」を二回読みましよう。

一回目は、てんまる読み（句読点（、や。）で区切って読む方法）で、二回目は、場面の様子を想像しながら読みましよう。

☆ 読んだ後に、感想や疑問を書きましよう。

（例）少年が、あきらめずに、海を目指して歩いていくところが感動した。少年は、どうして海を見たいと思ったのか、疑問に思った。

「ふりあおぐ」とか「あさぎ色」など、ふだん使わない言葉だけど、とてもすてきな表現だと思った。

あの坂をのぼれば

名前

◎めあて

登場人物の心情の変化について考えましょう。

☆「あの坂をのぼれば」に登場する少年の心情の変化について、次の空らん言葉を入れて、まとめてみましょう。

はじめの心情

(例) あの山を一つこえれば、海が見えるぞ。

途中の心情

(例) 山をこえてもこえても、海が見えない。もうあきらめようかな。

出来事

(例) 海鳥と出会う。

最後の心情

(例) あの坂をのぼれば、海が見える。行き着いてみせるぞ。

あの坂をのぼれば

名前

◎ めあて

「あの坂をのぼれば」のあらすじをつくりましょう。

☆ 「あの坂をのぼれば」のさし絵を見ながら、どんな場面か、説明しましょう。

☆ 説明できるようにになったら、説明したことを書いてみましょう。

(例) あの坂を上げれば海が見える。少年は山道を歩いて行く。しかし、

山をこえてもこえても、海は見えない。あきらめかけたそのときに

海鳥が羽ばたいて、とうげをこえていった。海鳥が落とした白い羽

をにぎって、少年は海を目指して坂をのぼっていく。

☆ あらすじをつくると、物語の内容をかん単に紹介することができます。いろいろな物語のあらすじづくりにチャレンジしてみましょう。